

五月号 主要記事

才四回大津町議会臨時会開催

大津町の畜産振興策を決定

大津町社協創設十周年記念総会の開催

健康家庭二百世帯を表彰

才十分団が三年連続優勝す

引水部落に放送施設

職業安定協力員に笠原氏を任命

農休日を決定(下猿渡部落)

豚の登録検査の日割のお知らせ

小児マヒの予防接種をいたしましょう

大津町区長名簿

優良納税組合を表彰

養老院日誌

三十六年固定資産税第一期分の納税はすみましたか

教職員異動

訂正

大津町の人口

銃砲や刀剣類を発見したらすぐ警察へ

才七回熊本県春季赤ちやん一斉健診

大津町連合婦人会の誕生

大津町連合青年団の総会

第四回大津町議会臨時会開催

全議案を原案通り可決

第四回大津町議会臨時会は四月二十四日午前十時より大津町議会議場に招集されました。

開会と同時に西本議長より会期日程をはかり引続き本会議に坂本町長より提案理由の説明があり議案に対する質疑応答がくり返され全議案を慎重審議の結果原案通り可決決定されました。

本会議に可決された主なる議案は次の通りである。議案第三十五号は農家の皆様に関係ある予算外（義務

負担家畜導入資金）についてであり他に二件ありました（議案）

議案第三十三号

大津町上水道の町外給水について

本町は次の地域に対し町外給水を行うこととする。昭和三十六年四月二十四日提出

大津町長 坂本篤美

給水区	給水予定戸数	給水工事施行方法	備考
菊陽村大字古閑原入道水	一七〇戸	町長の指定に基づき菊陽村に於て負担施行する	

議案第三十四号

大津町上水道使用条例の一部を改正する条例の制定について

大津町上水道使用条例（昭和三十一年条例第三十六号）の一部を次のように改正することとする。

昭和三十六年四月二十四日提出

大津町長 坂本篤美

大津町条例第三号

大津町上水道使用条例の一部を改正する条例

第三十一条の(二)に次の但書を加える

但し町長が指定した給水施設工事について給水使用者がこの工費の全額を負担し工事を施行した場合はこの限りでない

附則

この条例は公布の日から施行する

議案第三十五号

予算外義務負担について

熊本県信用農業協同組合の連合家畜導入資金貸付要領

負担家畜導入資金）についてであり他に二件ありました

議案第三十三号

大津町上水道の町外給水について

本町は次の地域に対し町外給水を行うこととする。昭和三十六年四月二十四日提出

大津町長 坂本篤美

大津町の畜産振興策を決定

八農協の申請額四六七〇万円

本年度最大の事業として成案された管内各農業協同組合が行う家畜導入資金融資事業に対する町の利子、補給金に債務補償については去る四月二十四日臨時議会上に於いて万端一致可決決定され、其の後同二十六日直ちに関係農協との間に利子補給助成並債務補償に関する契約が締結され、併せて事務関係の打合せも完了し近く実行の段階に來たので事業の概要を公報します。

記

- 一、資金の種類
熊本県信用農業協同組合連合会プロバ資金
- 二、融資に伴ふ町が行ふ利子補給助成並債務補償をする事業の概要

1. 事業の対象となる購入家畜、乳牛、和牛、豚とする
2. 資金の償還期限
乳牛、和牛については昭三六、二一、二〇迄を償還期間とし爾後三ヶ年均等償還
3. 利子補給助成並に債務補償に関する方法
一町は本事業に対し前項の償還が完了する迄毎年農協に対し一年一割の利子を支払ふ
町は本事業執行中不測の事故による損失について其の損失を補償する。
但し悪質の場合は此の限りでない
以上詳細は最寄農協又は役場係へ御尋ね下さい。

大津町社協創設十周年記念總會の開催

昭和二十六年大津町社会福祉協議会が創設されて満一〇周年を迎えた。四月二十八日町社協はこの記念日を、として第十回の總會を開催した。

県当局、県社協、菊池事務所等より多数來賓出席の下に二百名を越ゆる会員の集會で近年にない盛會であり成功裡に大會を終了した。本大會に於ては特に各部落の福祉活動を推進する為、その中核となり組織者である区長の役割が強調され、又社会福祉事業に功績の多かつた個人九名、団体が表彰され、十団体に感謝状が授与された。表彰並感謝を受けた方々及団体は左記の方々である。今後は益々各部落の福祉活動が推進され、われ々の明

る町、住みよい部落をつくり上げて行くことを折つてやまない。

この日坂本社会福祉協議会長より

野中光子、同治子さんが家庭的に不幸な少女を引取り生活を共にし卒業就職まで世話をしたという篤行で表彰をうけたのをはじめ宮崎太七氏精方正雄氏、谷本竹八氏、鳥子川部孝子供会、岩坂部孝子供会、大津町商工会、矢野広喜氏、西村ひささん、大田鉄治氏並に大津、錦野、瀬田、陣内、岩坂、真木、平川、矢護川藤川の各地区婦人会であります。

健康家庭二〇〇世帯を表彰

保 險 課

大津町国民健康保険では、毎年健康家庭に記念品を配布していますが、国民健康保険の資格がある世帯で昨年四月から本年三月までの一年間保険証を使用したことがなく、保険税を完納している世帯に対し記念品を配布します。

該当者には近日御通知致しますが本年度は三二〇〇世帯のうち約二〇〇世帯となっております。いつも健康に注意して、病気のない明るい家庭を作りましょう。

第十分団が三年連続優勝す

消防ポンプ操法競技大会

大津町消防団の第三回消防操法大会は四月十五日午前九時より大津小学校々庭で挙行されまづ坂本町長、高木団長の挨拶のあと前年度優勝チーム第十分団より優勝旗返還があり力強い選手宣誓によつて町内二十七チーム（一ヶ分団兼権）の可搬動力ポンプの操法競技を開始した。審査長の県消防課長外五名の厳密な審査の結果第十分団が第一回に続いて三年連続優勝をかざつた。

競技終了後五位までの入賞チームに優勝旗贈呈並に表彰があり審査長の講評により午後二時盛會裡に終つた。

尚本年九月七城村で開催される菊池郡大会に代表が出席する予定である競技成績は次の通りで採点は動作員一〇〇点、総合成績五〇点、タイム五〇点の二〇〇点満点で減点方式で得点順位により決まる。

- 第一位 第十分団（中陣内）得点一八九・〇点
- 第二位 第八分団（森）一七〇・八點
- 第三位 第七分団（吹田）一六八・二點
- 第四位 第十四分団（真木）一六六・〇點
- 第五位 第十一分団（下陣内）一六二・〇五點

引水部落に放送施設

吹田、中島、新村、宮本、矢護川、杉水に続いて第七番目の放送施設が、工費約七万円をかけて引水に開設されました。弘報、周知、相互の連絡、部落の密合連絡から農休日には楽しい音楽を流そうという訳です。既設の

部落の美観からみましても、極めて好成績であります。ので、他部落に於ても放送施設を完備し、全町が放送網で掩われる日の早からんことを祈つてやみません。

職業安定協力員に笠原氏を任命

先ごろ労働大臣の指命により当町の民生委員笠原春雄氏が職業安定協力員に任命されました。職業の紹介、あつせんについて、ご相談に応じます。

ご遠慮なくおかけ下さい。
大津町本町三（若下薬局前） 笠原 春雄

新生活運動の一環

農休日 を 決定

新生活運動は各部落毎に区長さんを中心いろいろ討議されていますので下猿渡部落では毎月十五日を農休日とすることに決定来る五月十五日を皮切りに農作業を休むことになりましたこの日はまき午前中に大掃除を行い、午後は町中央公民館から映画会を催しいろいろ話し合うことになりました。

豚の登録検査の日割のお知らせ

大津弘報二二月号に「便をお送り申上げまして養豚家各位各農協養豚部会（会長は各農協組合長）に御協力をお願い致して置きました事項は夫々御多用にもかからず届出、調査下さっていること存じますが事業推進計画を立てます上に一日も早きを要しますので各農協養豚部会におかれては夫々御督促下さつて差当り仔豚の出場頭数調、登録種豚名簿、肉豚共同出荷頭数調を至急作成提出されるよう重ねてお願いいたします。便登載の前二回の講習会に次で愈々農業基本法も制定される段階に直面上して参りました今日私共養豚業を営むものとして云う云う上合にやたら良いかにつき三月十二日大津小学校講堂に日本養豚界の権威者九州農試技官栗原武先生の御足労を頂きましたところ三百余の聴講者の盛り上げる熱意に感食むべきの大熱弁を降して養豚農業全般につき余すところなく御教示を受けることが出来ましたこと感激の至りで御座います即刻最悪の場合の技術一キロ当二百円養豚もなりたつ経営実現に努力致しませう。養豚は先づ「技術」からと申されますので今后飼養管理品評会の開催等により一層お互いの経営、管理技術の向上に努め養

豚農業の実効を取めたいと想を練つていましてから「調査」「届出」も打てばピタリ如く処置方を願います又相互啓蒙のため部活、グループ座談会も計画せられて申出あれば協議会よりも出席して情報交換等致したいと考へます次に大津地区の豚の登録事務は東肥畜協内日本種豚登録協会審査員安達技師及緒方技師（役場畜産係）が担任で今后左記要領で実施することになりまして、御座りなく期日通りに申出になるよう御知らせします。
尚仔豚登記証明書、種豚（高等）登録証明書未受領の方は早急交付を受けられた次の検査に支障なきよう措置を要します。

記

- ① 仔豚登記検査
- ② 検査実施日毎月五、一五、二五
- ③ 種豚（牝）登録検査
- ④ 検査実施日 毎月二〇日

- ① 仔豚登記検査
 - ② 検査実施日毎月五、一五、二五
 - ③ 種豚（牝）登録検査
 - ④ 検査実施日 毎月二〇日
- (注) 毎月〇日まで届出のものにつき実施
右記検査届出は畜産組合の安達技師へすること。

小児マヒの予防接種を

いたしましょう

新聞マジョ等で御承知の事と思えますが本年もすでに県内に百数名の発生があり死亡者も数名出ております。従つて厚生省では熊本県を小児マヒ多発県と特別指定しその予防接種の計画が進められております。当町としてますので四月十七日付を以て希望者調を各区に配布しあります。がその要領細目について県からの通達をお知らせします。

記

一、定期予防接種該当児

1. 昭和三十六年四月一日現在の生後六ヶ月から三十六

三、任意予防接種

1. 満三才から六才迄の幼児（近日中実施予定）
4. 実費徴収方法（ワクチンの単価が少し高まりましたが

地 陣

内 区

計

年度末納期九五%〜九九%

組合名	組合長
陣農協支部	東 今期春
上区西	江 藤 仁 一
中区下村	上 田 金 平
中区本村	藤 本 勝 勝
銀治村	松 岡 鉄 雄
下区本村	渡 辺 信 雄
町 下町	内 原 重 悟
中島第五	藤 永 茂 巳
森商工会	
第十三組合	

組合名	組合長
室 三	岩 上 勝 郎
錦野中栗上組	高 本 未 喜 正
御 的	中 野 秋 彦 到
鳥子川	本 田 奎 夫
平真城御所原	藤 原 武 政
米 山	吉 良 茂 雄
伊セ村	吉 良 茂 雄
西下第一	大 村 毅
前原開拓	
モリ川	
御願所第一	
片又第一	
片又第二	
杉上第一	
杉下第三	
小林第一	
菊陽中尾組合	

養 老 院 日 誌

年月日
三六、三、一

長野仙平(合志村)入院
八代郡東陽村民生委員外六〇名視察見舞金を贈らる
緑の週間、松桜楠外苗木を配付され定植する
桃の節句
二月分扶助料支給
室町三丁目南部忍殿より煙草を寄贈さる
晋北町民生委員三〇名視察「リンゴ」を贈らる
新村西本ツルニ殿より葱を寄贈さる
チリ紙石輪支給

昭和三十六年固定資産税 第一期分の納税はすみま したか

納税者の皆様には何かと御多忙のことと存じます。
納税につきましては毎々多大の御協力を賜つておりま
すがお蔭で本町の税収も伸長の一途をたどり、滞納も漸
減し感謝に堪えないところであります。

さて先月は昭和三十六年度固定資産税第一期分の納期
でありましたが未納の方は至急納付下さるよう御願ひ致
します。

尚従来納付期限内に町税を窓口へ納付した場合奨励金
を交付致しましたが本年度より廃止になりましたので
御知らせ致します。

この 税 で
よ い 道
よ い 橋
よ い 学 校

- 町議会文化委員の現地調査
- 一四 七城村南校区結婚人会六〇名慰問、白米及卵を贈らる
 - 一五 飯治の上住宅坂本桐殿より(アサヒガラ)を寄贈さる
 - 一七 新村西本梅子殿より葱を寄贈さる
 - 一八 浄正寺大山住職の法話
 - 一九 上鶴町一、二、三丁目婦人会殿三〇名慰問、卵、菓子、煙草其他を贈らる
 - 二〇 浄正寺大山住職の法話
 - 二一 看護婦寮母研修会(熊本市)出席
 - 二二 中町七、下、鶴口婦人会殿五〇名慰問、菓子、阿蘇乃雪を贈られ舞踊を披露さる
 - 二三 上森助雄七〇才(中島)胃潰瘍にて死亡、通夜
 - 二四 故上森助雄葬儀、火葬
 - 二五 在院者現在男二十四名、女二十三名計四七名

教職員異動

(大津町内の分)

右記慰問及篤志の方の御芳情に対し厚く御礼申上げます
 尚四月一日を以て開院一週年を迎えますが、毎週生花の奉仕に来て頂く陣内の福本先生や毎月宗教講話の奉仕に来て頂く浄正寺大山住職の篤志に対し深く感謝致します。

小学校の分	氏名	新任先	前任校
校長	松井 実	陣内小	護川中
採用	古庄 恂	大津小	宮地小
採用	管村 峰子	大津小	養護助教諭
教員	山口 敏子	護川小	菊陽北小
	西口 正義	大津小	旭野小
	赤峰 徹也	陣内小	竜門小
	松永 タエ子	大津小	真城小
	菊野 武	大津小	岩坂小
	境野 一頭	陣内小	菊陽南小
	林田 益雄	陣内小	陣内小
	中尾 トミ子	陣内小	陣内小
	山隈 哲也	陣内小	矢護川小
	福本 泰	陣内小	大津小
	河内 敏之	陣内小	真城小
	粟林 重三	陣内小	錦野小
	中林 ミチ	陣内小	阿蘇、中松小
	田代 吉人	陣内小	熊飽、城東小
	豊田 輝夫	陣内小	天草、深瀬小
	中尾 イツ子	陣内小	阿蘇、高森小
退職	確井 悦子	大津小	陣内小
事務職員	田崎 義人	大津小	水原北小
中学校の分	事務職員	徳永 洋之介	大津小
校長	古閑 肇	護川中	鹿本城北中
採用	原 貴美子	大津中	
	松本 耕紀	大津中	

教員

山崎 崇伸	菊阿中	大津中
宗 照代	護川中	大津中
日高 政子	大津中	菊陽中
有田 経裕	大津中	桜山中
窪田 紀徳	大津中	田蒲中
工 藤 薫	大津小	菊池中
坂本 郁夫	大津小	大津小
岡本 厚	大津小	菊陽北小
岡上 悦郎	大津中	限府中
内尾 明生	大津中	菊陽北小
坂本 正志	大津中	水原中
笹原 志	大津中	不知火小
林 義憲	大津中	人吉一中
田代 正幸	大津中	西合志中
梅田 輝昭	大津中	色見小
岡田 キヨ	大津中	大津小

訂 正

四月号第六頁(3)豚の項及(4)馬の項を次の通り訂正する

- 一、豚の項十行の次に左の通り挿入
 - (1) 特別融資による導入資金の利子補給
 - 二、馬の項を次の通りとする
- (4) 馬

全国的統計其の他によれば動力運搬車、大農機具等の普及により減産の状態ではありますが、当町においては西日本随一の馬産地として特別の観点から優良牡馬の育成についてのみ奨励施策を講じたい

(本年度専決) 飼養管理助成
 (4) 優良仔畜の販畜導入助成
 (4) 優良仔畜の飼養管理助成

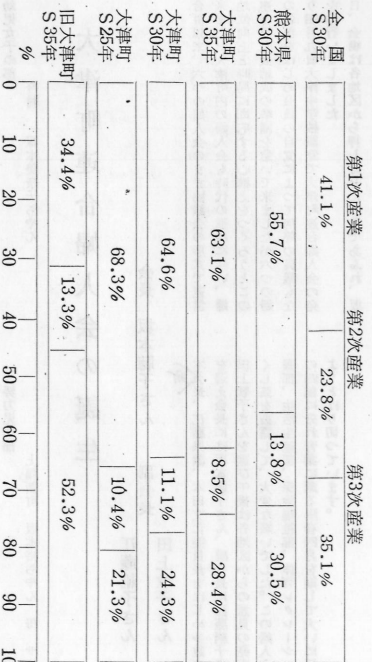
大津町の人口(二)

第一回産業別年次就業人口

(△印は減少を示す)

区分	年次	S 3 0		S 3 5		S 3 0 人口との比較	
		就業人口	就業人口	増減数	増減率%		
第一次産業 農業及びびわ水産業 計	業	7,080	6,238	△	842	△	11.9
	業	55	24	△	31	△	56.4
	業	7,135	6,268	△	867	△	12.2
第二次産業 製糖業 計	業	6	19	△	13	△	21.6
	業	531	260	△	271	△	51.0
	業	692	580	△	132	△	19.1
	業	1,229	839	△	390	△	31.7
第三次産業 卸売及びびわ水産業 金融、保険、不動産業 運輸、通信及び公営事業 サービス業 計	業	1,109	1,182	△	73	△	65.8
	業	77	66	△	11	△	14.3
	業	420	376	△	44	△	10.4
	業	832	941	△	109	△	13.1
	業	247	250	△	3	△	12.1
	業	2,685	2,815	△	130	△	48.4
總計		1,104.9	9,922	△	1,127	△	10.2

第2回 産業別就業者割合年次別推移



第一回及び第二回から特に目につくのは

(一)第一次産業の人口が大巾に減少していること

(二)全国、県と比較すると大津町は第一次産業の占める比重が大きいこと、つまり町の性格から云えば農業を主体とする町であること

の二点である。

先月号で大津町人口の減少理由として、幼年人口の減少と青年男子の県外流出の二つを挙げたが(一)により青年男子の社会減の中心が農家青年にあつたことが知られる。

農業地帯における労働の中心である青年男子の減少の只ならぬ現象は何も大津町に限つたことではなく、全国到る処にみられる現象である。昭和三十五年二月一日

(統計係)

銃砲や刀剣類を発見したら「すぐ警察へ

正規の手続きを済ませて所持しましょう

近ごろご承知のように各地で、けん銃や猟銃または、日本刀やあいくちなどで人を殺したり、傷つたりする事犯が非常に多くなつてきております。そこで警察では

このようなものを自宅等で発見された場合は、ただちに警察へ届け出ていただくよう、只今運動をおしすすめております。

皆さん、皆さんのうちで、旧軍隊当時のものや、海外から引揚げるときに持ち帰られたけん銃や、猟銃または日本刀等をしまい忘れていて、大掃除、遺品整理のときなどに発見されたことはありませんか。

けん銃は暴力団や、ぐれん隊などが殺人や強盗、脅迫などの兇悪な犯罪に用いる危険なものでありますから、たとえ形見や、記念品であつても許可を受けず持つことは、許されておられません。若し盗まれでもすれば、犯罪に使われるおそれがあり、防犯上からしても、極めて危険であります。

次に猟銃や、空気銃または、日本刀等は発見して届け

出られたら許可又は登録を受けると法の保護のもとに引取り、所持することが出来ます。

若し届け出ずに持つておられますと、現物は押取された上不法の所持として重く罰せられます。

皆さんもう一度春の大掃除の際捜がしてみましよう。そうしてけん銃や猟銃、空気銃または日本刀やあいくちなどを発見されたらすぐ本署か駐在所まで届け出てください。

発見して、すみやかに届け出れば、決して処罰せられることはありません。

また発見届けについては、何の手続きもいりませんから、安心して届け出てください。

そして、銃や刀等による殺傷事件が一件でも少くなり暴力のない平和な住みよい郷土ができるよう警察は皆さんのご協力をのぞんでおります。

大津警察署

第七回熊本県春季赤ちやんの一齊健康診査

大津町では白間に亘り部落に於て実施致しました結果

三八二名の出席者があり、その中から二十八名の優良児と二名の努力児を選び大津町中央公民館に於て大津町主催第五回赤ちやん大会及び郡出席者予選大会を四月二日実施し郡予選出場者が次の通り決まりました。

- 乳児男子の部
第一位 桜町 日野克彦ちやん
第二位 水原町 大塚浩ちやん

- 幼児男子の部
第一位 新小屋 上田孝行ちやん

三 下町 重田英浩ちやん

- 乳児女子の部
一 小林 本田留美子ちやん

二 中学通 武島尚美ちやん

三 宮本 東 初美ちやん

一 新小屋 上田孝行ちやん

幼児女子の部

今村 塚本美奈子ちゃん

努力児の部

上鶴新町 坂本裕ちやん 母 サチ子

大津町連合婦人会の誕生

会長 坂本聰子さん 副会長 江藤絹子さん

田上歌子さん

町村合併以来、六つの婦人会のまま協議会の形式で運営して来ましたが、大津町内の婦人会も時代の進展に伴い、婦人の地位向上と時局に即応する心構えをつくらうとこのほど連合婦人会結成の準備を急いで来ましたが六つの婦人会の幹部をはじめ會員の自覚によつて何等の異議もなく纏りを四月九日大津中学校講堂で大津町連合婦人会の発会式を挙行いたしました

この日、会場は各地区から押し寄せた會員であふれ、坂

本会長、江藤副会長、本田文化委員長をはじめ多数の来賓を迎え会長には坂本聰子さん、副会長に江藤絹子さん、田上歌子さんを選び午後は各地区からの意見の発表やかくし芸を披露して、大変な賑いでした。この婦人会は教養部、生活生産部、保険福祉部、体育レクレーション部の四部に分け青葉に薫る陽春四月を期して大いに活躍しようとはり切っています。

大津町連合会青年団の総会

団長 宇野正輝氏 副団長 中尾亮之輔氏

菊池あさ子さん

大津町連合青年団の総会は四月三十日午前十時より大津町中央公民館で開催しましたこの日各地区から多数の団員が早朝より会場に詰めかけ、予算決算の承認、三十六年度の予算の審議を行ったのも、役員の改選を行い団長に宇野正輝氏、副団長に中尾亮之輔氏、菊池あさ子さんを選び、散会した、各地区青年団の役員は次の通り(敬称略)

大津(団長) 糸水 憲祐

(副) 石原 義夫

本田 賢次

矢野トキワ

陣内(団長) 吉田 国幹

(副) 元田 孝文

平真城(団長) 宇野 正輝

(副) 村本

吉良智恵子

護川(団長) 村山 春記

(副) 豊岡竜之介

菊池あさ子

瀬田(団長) 松平美千男

(副) 西本 光明

三島たみ子

錦野(団長) 中尾亮之輔

(副) 中野 義一

東 洋子

納税は

一にも二にも心がけ